

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

胸腺上皮性腫瘍に対する低侵襲手術の有用性

1. 研究の対象および研究対象期間

2017 年 1 月から 2025 年 12 月までの期間に、昭和医科大学病院の呼吸器外科において、胸腺（きょうせん）の腫瘍に対して切除手術を受けた患者さんが対象です。

2. 研究目的・方法

【研究の目的】

胸腺（きょうせん）とは、胸の中央部（心臓の前方）にある臓器です。この胸腺にできる腫瘍（胸腺上皮性腫瘍）に対しては、従来の胸を大きく切り開く手術（開胸手術）のほか、近年では胸に小さな穴をあけて行う胸腔鏡手術（きょうくうきょうしゅじゅつ）や、ロボットを使った手術（ロボット支援胸腔鏡手術）といった、患者さんの体への負担が少ない「低侵襲手術（ていしんしゅうしゅじゅつ）」が行われるようになってきました。

本研究は、昭和医科大学病院の呼吸器外科で 2017 年から 2025 年の間に、胸腺腫瘍の切除手術を受けた患者さんの診療記録を調べることで、低侵襲手術と従来の開胸手術を比較し、低侵襲手術の安全性および長期的な治療成績（生存率、再発率など）を明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、将来の患者さんに対してより安全で効果的な治療を提供するための科学的根拠となります。

【研究の方法】

患者さんに新たな検査や処置は一切行いません。すでに診療のために作成・保存されている診療記録（電子カルテ）のみを使用します。調べる項目は、手術を受けた時の年齢・性別、腫瘍の大きさ、病気の進行度（病期）、手術の方法、手術後の合併症の有無、入院日数、術後の経過（生存期間・再発の有無）などです。これらの情報は、個人を特定できないよう番号（研究用 ID）に置き換えた状態で解析します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査

結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

手術時年齢、性別、術前の全身状態（体の動かしやすさの評価）、既往歴（過去の病気や手術歴）、腫瘍の大きさ、病気の進行度（臨床病期）、術前治療の有無、手術の方法（開胸手術・胸腔鏡手術・ロボット支援手術の別）、術後合併症の有無と内容、病理学的病期（手術後の標本による病期診断）、病理組織診断（腫瘍の組織型）、術後の入院日数、術後の全生存期間、術後の無再発生存期間、術後治療の内容

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者	昭和医科大学医学部外科学講座呼吸器外科学部門	氷室 直哉
研究分担者	昭和医科大学医学部外科学講座呼吸器外科学部門	小林正嗣
		遠藤哲哉
		瀬戸克年
		神武輝
		上田康平

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部外科学講座呼吸器外科学部門 氏名：氷室 直哉

住所：〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 昭和大学病院 電話番号：03-3784-8588（直通）